

第107話 疫病の流行・救済薬法 中山町歴史散策

病気の予防・治療について、原因がわからなかった時代は体調の良し悪しや神仏の崇り、罰当たり、生霊の憑きものなど、さまざまに思い込みがあったものの、たび重なる同種の病気については、経験から得られた対処の知恵、医者の養生法の研究、記録などから次第に有効な治療方法が考案されていきました。

しかし、中には、神符(まじない札)を戸口に貼って病魔の侵入を防ぐというようなものもありましたが、いずれにしても当時としては真面目に語られ、実用化していた治療法であることは間違いありません。

八代將軍徳川吉宗の頃から、幕府の公的な治療法がまとめられ、それが幕領、私藩を問わず領布されましたが、領民の中で書写の達者なものが記

録して保存したものが現存しています。

享保18(1733)年の凶作飢饉の折、各地に時疫(消化器系の伝染病)が流行し、その治療のため幕府は諸医家の得意とする治療法を集め、「救済薬法」として配布した公的治療があります。

これ以前にも小規模のものは配られていたと思われるものが、この「救済薬法」は最も規模が大きいものとなっています。

弘化年代に入って、長崎村の石沢太惣治家の萬覚帳や諸色付込帳のあちこちに記載された医学的な知識は夥しいものがあり、来店した商人や珍客から治療法を積極的に採録した形跡があります。

※参考 中山町史 中巻 第9章第4節 疫病の流行

平成27年国勢調査

人口集計結果速報が公表されました

国勢調査は、平成27年10月1日を期日として実施されました。

この度、国勢調査人口および世帯数の速報値が公表されましたのでお知らせします(カッコ内は平成22年調査との比較)。



人口 11,366人 (649人減)
世帯数 3,466世帯 (43世帯増)

5年前に実施された平成22年国勢調査と比較してみると、人口は649人減少し、世帯数は43世帯増加しました。

国勢調査の結果は、国や都道府県、市町村における都市計画や福祉施策などの各種行政資料、地方交付税の算定基準、将来人口の推計などの人口分析に利用されるほか、研究やビジネスなど広く社会に利用されます。国勢調査へのご協力、ありがとうございました。

※国勢調査は、住民票などの届出に関係なく10月1日現在、普段住んでいる場所で調査することになっているため、住民基本台帳の人口とは異なります。
 ※この速報は、市町村において審査を終了する前の調査票から世帯人員を集計した要計表に基づき作成したものです。後日公表する確報は全調査票の記入内容の審査を経て集計・公表するため速報とは必ずしも一致しませんのでご注意ください。

町議会だより

平成28年第1回目の町議会臨時会が1月20日に開催され、次の内容について審議されました。

1. 条例の制定

中山町町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について、並びに中山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分が承認されました。

2. 平成27年度一般会計補正予算

平成27年度中山町一般会計補正予算(第4号)についての議案が原案のとおり可決されました。これにより、歳入歳出予算にそれぞれ89万円が追加され、歳入歳出の総額は70億2,396万3千円となります。

歳入

	補正額	補正後の予算額	主な歳入補正の内容
民生費県補助金	87万5千円	4,075万7千円	灯油購入費助成事業補助金 87万5千円
総務費委託金	1万5千円	2,159万7千円	国勢調査委託金 1万5千円

歳出

	補正額	補正後の予算額	主な歳出補正の内容
国勢調査費	1万5千円	367万6千円	国勢調査員謝金 7万6千円
社会福祉総務費	195万3千円	2億34万円	福祉灯油購入費助成金 175万円
予備費	△107万8千円	2,149万4千円	

平成28年4月1日から、ご家庭で使用した 在宅医療廃棄物を収集します

収集できるもの：鋭利でないもの

- ◆ビニールバッグ類(輸液・蓄尿・CAPD・栄養剤バッグ等)
- ◆チューブ・カテーテル類(吸引チューブ、輸液ライン等)
- ◆針を除いた注射筒(使い捨てペン型インスリン注入器、栄養剤注入器)
- ◆脱脂綿・ガーゼ類



収集できないもの：鋭利なもの

- ◆ペン型自己注射針
 - ◆医療用注射針・点滴針
- ※これらは医療機関等へ返却してください。



【出す際の注意】

- ①中身を空にして、ポリ袋(透明)に入れ密封した後、もやせるごみ袋に入れてください。
- ②プラマークの表示があっても、もやせるごみとして出してください。